

2020年度後期授業アンケート分析報告書

1. 全体の結果について

2020年度後期授業評価アンケートは次のような要領で実施された。

- ・ 対面授業：2020年12月10日（木）～12月16日（水）に i-Compass で実施
- ・ オンデマンド授業：2020年12月10日（木）～12月23日（水）に Teams で実施
- ・ 後期・通年（集中講義を含む）すべての開講科目

全体の結果は【別紙】を参照のこと。

2. 授業満足度との相関性について

授業満足度と高い相関をもつ要素について、(1)ではゼミナール・卒業論文を除く科目について、(2)ではすべての科目について、相関行列を用いて確認した。

(1) ゼミナール・卒業論文を除く科目

授業満足度と相関の高い要素は、「資料のわかりやすさ」、「興味関心」、「指示の適切さ」、「双方向性」であった。（表1参照）

【表1】

	履修者数	回答比率	【2】興味関心	【3】難易度	【4】指示の適切さ	【5】双方向性	【6】資料のわかりやすさ	【8】予習・復習時間	【9】課題作業時間	【10】授業満足度
履修者数	1									
回答比率	-0.42641	1								
【2】興味関心	-0.07214	-0.06303	1							
【3】難易度	-0.06766	-0.03628	0.19932	1						
【4】指示の適切さ	-0.10969	0.05980	0.80182	0.22462	1					
【5】双方向性	-0.29305	0.13388	0.72405	0.31255	0.73498	1				
【6】資料のわかりやすさ	-0.15315	0.03217	0.83446	0.19034	0.85463	0.76606	1			
【8】予習・復習時間	-0.04268	-0.00202	0.28468	0.56343	0.32251	0.22794	0.33637	1		
【9】課題作業時間	0.05881	-0.03988	0.05277	0.36346	0.08932	-0.02766	0.06844	0.50444	1	
【10】授業満足度	-0.23227	0.09213	0.82872	0.20652	0.79154	0.76812	0.83683	0.27305	0.00473	1

(条件) ゼミナール・卒業論文を除く科目

(2) すべての科目

授業満足度と相関の高い要素は「興味関心」、「指示の適切さ」、「資料のわかりやすさ」、「双方向性」であった。

【表 2】

	履修者数	回答比率	【2】興味関心	【3】難易度	【4】指示の適切さ	【5】双方向性	【6】資料のわかりやすさ	【8】予習・復習時間	【9】課題作業時間	【10】授業満足度
履修者数	1									
回答比率	-0.4285	1								
【2】興味関心	-0.1520	-0.0248	1							
【3】難易度	-0.0502	-0.0493	0.2213	1						
【4】指示の適切さ	-0.2184	0.0966	0.8112	0.2254	1					
【5】双方向性	-0.3970	0.1780	0.7146	0.2527	0.7872	1				
【6】資料のわかりやすさ	-0.2321	0.0839	0.7795	0.1843	0.8303	0.7822	1			
【8】予習・復習時間	-0.0417	-0.0722	0.3015	0.5469	0.2903	0.2410	0.3201	1		
【9】課題作業時間	-0.0615	-0.0284	0.1605	0.3465	0.2041	0.2070	0.1667	0.5593	1	
【10】授業満足度	-0.2984	0.1122	0.8265	0.1598	0.8167	0.7769	0.8007	0.2359	0.1218	1

(条件) すべての科目

「興味関心」の相関が高いという、上記2つの相関行列の傾向は、これまでの授業評価アンケートと大きく変わらない。一方、今年度より加わった「指示の適切さ」、「双方向性」、「資料のわかりやすさ」は高い相関を示しており、授業満足度に影響を与えている。なお、ゼミナール・卒業論文を除く科目においては、「資料のわかりやすさ」がより高い相関を示した。

3. 双方向性×授業満足度について

千葉経済大学では、授業評価アンケートの結果にもとづいて顕彰者を選定している。2020年度（後期）は、「双方向性（教員・学生間のやりとり）」の評価が高く、かつ授業の満足度が高い授業について、担当教員を顕彰している。

評価項目として、「双方向性×授業満足度」を次のように定義している。

$$\text{双方向性} \times \text{授業満足度} = \sqrt{(\text{「双方向性」の値}) \times (\text{「授業満足度」の値})}$$

【表 3】

	履修者数	回答比率	【2】興味 関心	【3】難易度	【4】指示の 適切さ	【6】資料の わかりやすさ	【8】予習・ 復習時間	【9】課題作 業時間	【5】双方向 性×【10】 授業満足度
履修者数	1								
回答比率	-0.42641	1							
【2】興味関心	-0.07214	-0.06303	1						
【3】難易度	-0.06766	-0.03628	0.19932	1					
【4】指示の適切さ	-0.10969	0.05980	0.80182	0.22462	1				
【6】資料のわかりやすさ	-0.15315	0.03217	0.83446	0.19034	0.85463	1			
【8】予習・復習時間	-0.04268	-0.00202	0.28468	0.56343	0.32251	0.33637	1		
【9】課題作業時間	0.05881	-0.03988	0.05277	0.36346	0.08932	0.06844	0.50444	1	
【5】双方向性×【10】授業満足度	-0.27877	0.12098	0.82382	0.27842	0.80959	0.84998	0.26326	-0.01408	1

(条件) ゼミナール・卒業論文を除く科目

「双方向性×授業満足度」について、他の要素との相関行列をとったものが表 3 である。この表によれば、「双方向性×授業満足度」は、「興味関心」、「指示の適切さ」、「資料のわかりやすさ」と相関が高いことが見てとれる。

なお、学生の学習時間に関連する項目である、「(授業 1 回あたりの) 予習・復習時間」については、「双方向性×授業満足度」と弱い相関が見られる一方、「(授業 1 回あたりの) 課題作業時間」は微弱ながら負の相関が見られる点に注意が必要である。

以上